２０２３年６月９日

独立行政法人国際協力機構（ＪＩＣＡ）が発行する

「サステナビリティボンド」への投資について

ひろしま農業協同組合は、独立行政法人国際協力機構（以下「ＪＩＣＡ」）が　発行する「サステナビリティボンド」に投資したことをお知らせします。

「サステナビリティボンド」とは、調達資金の使途が、環境改善効果があること（グリーン性）及び、社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）の双方を有する債券です。

※JICAのサステナビリティボンドは、独立した第三者機関であるMoody'sより、国際資本市場協会（International Capital Market Association: ICMA）が定義するサステナビリティボンドの特性に従った債券である旨のセカンドパーティーオピニオンを付与されています。

ＪＩＣＡのサステナビリティボンドで調達された資金は全額がＪＩＣＡの実施する有償資金協力事業に充てられ、開発途上国の社会的課題や環境面の課題解決に貢献する出融資に活用されます。また、ＪＩＣＡ債の発行は、日本政府のＳＤＧｓ達成に向けた実施指針である「持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）実施指針」において具体的な施策の1つに位置付けられています。

　ＪＩＣＡ債への投資が発展途上国の発展支援へ繋がること、国際経済社会の健全な発展に寄与することを願って本債券への投資を行うことといたしました。

引き続き、農業協同組合として社会貢献活動に取り組んでまいります。

ＳＤＧｓとは（エス・ディ―・ジーズと読みます。）

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）のことで，2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択され，2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され，地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。

